

九州海外協力協会だより

第47号



特定非営利活動法人
九州海外協力協会



2018年 新春号

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から温かいご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

本年は間違いなく当協会の真価が問われる年になります。昨今の複雑な国際情勢に加え、経済のグローバル化、国内の少子高齢化、産業構造の変化等に対応すべく、日本の国際協力のあり方も大きく変化してきており、当協会もこれまでの事業内容を根本から見直す必要に迫られています。

他方で私どもは営利企業でも行政組織でもない「非営利団体」です。社会・経済の動向に左右されない自分たちの「使命」や「理想」を持ち続けていくことも忘れてはなりません。原点に立ち戻り、私たちの「存在意義」を再確認する時期でもあると感じています。本年も引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお祈りいたします。(事務局長 馬田 英樹)



明けましておめでとうございます。

昨年3月からこちらの協会にお世話になる事になり、早10ヶ月が過ぎました。昨年は、異なる文化や風習を受け止め、認め合う事の大切さを学ばせてもらった年でした。協力隊経験の無い私にとっては協会内外で飛び交う言葉が分からない事も多々あり面食らう事ばかりでしたが、最近は何となく慣れてきた気がします。(山本 潤)



明けましておめでとうございます。

昨年は一般の方を対象とした「いっぽふみだす！異文化理解講座」(全5回)や「いのちのめぐり方」という環境について考えるイベントなど、私にとって初挑戦の事業をたくさん行い、充実感でいっぱいです。来年も意欲的に新しい事業に参入していきたいと思っております！！(古泉 志保)



明けましておめでとうございます。

昨年は新しい草の根プロジェクトが開始され、出張が多い一年でした。現地の人たちと一緒に悩んで考える仕事。簡単ではありませんが、皆様のおかげで楽しい仕事をさせていただいています。今年は「恩返し」をテーマに一層励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。(米村 淳平)

明けましておめでとうございます。

昨年は、沢山の新しい経験をさせていただき、また知らないことがまだまだたくさんあるのだと実感する一年でもありました。今年も更に好奇心と向上心を高め、自分自身を磨いていけるよう頑張りたいと思っております。本年も変わらぬご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。(橋口 恵利子)

あけましておめでとうございます！

昨年は、カンボジアのプロジェクトをはじめ、多くの経験をさせていただきました。講演やイベントに呼んでいただく機会も増え、みなさまとの出会いが、私にとってたくさんの「気づき」に繋がっています。今年も毎年の目標である「忘れ物をしない」に「出不精を克服する」を加え、より一層努力していきたいと思っております。(河野 菜津子)



「伊沢正名氏と考えるいのちのめぐり方」講演会を実施

勤労感謝の日（11/23）に福岡市国際会館にて、当協会が主催する「伊沢正名氏と考えるいのちのめぐり方」講演会を行いました。

タモリ倶楽部への出演などで最近注目を集めつつある「糞土師」の伊沢氏に茨城よりお越しいただき、人間誰もが避けて通れない排泄行為と生命の循環についてお話しいただきました。伊沢氏は環境活動やきのご写真家としてのキャリアから、人間と自然環境との関わりについて考え、ノグソ歴がなんと40年！人間のみならず全ての生物の命のつながりを見据えたお話に集まった方々からは「世の中をひっくりかえすような大きなお話にびっくり」「常識にとらわれていたのがはがれた気分」「子どもたちに伝えたい！」と大絶賛の声が上がっていました。

伊沢氏の前には、とある最新の調査で「適切なトイレを利用できる人口の割合が世界で最も低い」と報告されたエチオピアのトイレ事情について古泉がお話しました。

考えてみれば水洗トイレはごくごく最近の、一部の先進国のもの。ひとたび災害が起これば、そのトイレが機能しなくなるのは誰もが経験したり聞いたことがあるはずです。



（キノコとウンコの基本講座）

そんな時にお役に立つ方法として、あるいは自然界に活かされている生物の一員として、伊沢氏のお話は衝撃・共感・納得のオンパレードでした。

私が今年読んだ中で最もオススメしたい本として、伊沢氏の『くう・ねる・のぐそ』（山と溪谷社）があります！皆様、ぜひご一読ください。（古泉 志保）



（葉っぱを見る目が変わる！おしりにやさしい葉っぱのご紹介も。）



東筑紫短期大学 大学祭にてフェアトレード・ミニ講演会！

11/4（土）、東筑紫短期大学（北九州市小倉北区）の大学祭にて実施された、**フェアトレードに関するミニ講演会**にて講話させていただきました。これは、同学園祭にて食物栄養学科の1年生がフェアトレード・カフェを運営するにあたり、運営する学生自身の勉強のため、またカフェの利用者の方々にその背景を知って頂くという取り組みの一つとして実施されたものです。



当日は、フェアトレードの美味しいコーヒーやスイーツ以外にも、フェアトレードを紹介する掲示物がきちんと作成され準備されていました。また講話中も、カフェの商品を飲食しながら、皆さん真剣に耳を傾けて下さっていたことが印象的でした。**開発途上国の生産現場の改善を目指すフェアトレード**について、その商品を美味しくいただくことで、背景に関心を持って頂く、知って頂くのにとっても良い機会だったのではないかと思います。

今後も多くの若い方々に、**自分の関心のある分野から世界に目を向け**、更には国際協力にも関心を持って頂けるよう、そのお手伝いが出来ればと感じました。



（エプロン姿の学生たちも）

（橋口 恵利子）



（フェアトレードのコーヒーとチョコレートを使ったスイーツ）

ご要望はありますか？

「ボランティア」「国際協力／交流」「異文化理解」「環境」「教育」「ジェンダー」等をテーマにした、講演会、勉強会、ワークショップ等のご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。⇒⇒⇒ ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp



「中学校教員指導能力向上プロジェクト」本邦研修を実施！



JICAの支援を受けて実施中の、草の根技術協力事業「中学校教員指導能力向上プロジェクト」において、9月3日～17日の14日間、**カンボジアより4名の先生の本邦研修**を行いました。私達のプロジェクトでは、カンボジアの中学校の先生方が授業に簡単に取り入れられるテクニックを**ワークショップ形式で紹介**しています。しかし、ワークショップを実施しただけでは、紹介したテクニックを使うことで、将来どのような「学級・学校」になるのかを想像しにくいと思います。そのため、カンボジアの先生方の本邦研修を行うことで、**ワークショップのテクニックが教育現場でどのように活かされているか**実際に見てもらうことが重要だと考えました。

初めは福岡市内の発展に驚き、地下街に入れば「なぜ、こんな地下に町があるんだ?!」「何メートル掘ったんだ?」と大騒ぎをしていた先生方ですが、研修が進むごとに「**日本の発展は教育の賜物なのだ**」というような意見を聞くことができました。なかには「カンボジアの子ども達の学力が低いのは私達の教え方のせいかもしれない」という意見もあり、来日した先生方は「**教師としての責任を再確認**したようです。日本でたくさんの気づきを得た4名の先生方の活躍に注目です！（河野 菜津子）



(カンボジアから本邦研修に訪れた4名の先生)

青年研修（初中等理数科教育 大洋州混成9カ国23名）を実施！

JICA九州からの委託で当協会が実施した青年研修。今回の研修員は大洋州9カ国（フィジー、パプアニューギニア、キリバス、ソロモン、パラオ、マーシャル、ミクロネシア連邦、トンガ、サモア）から23名が来日。例年より1日長い14日間の研修を行い、研修員全員、体調を崩すことなく**無事修了**することができました。

研修では福岡県内の小学校や中学校、教員養成校での授業見学や日本の先生方との意見交換を中心に、教育委員会での福岡の教育システムについての講義、学校以外の学びを深める場として博物館や科学館での理数科の取り組みを紹介しました。

また、新しい試みとして、**長崎県での平和教育研修**を行いました。長崎までの道中はまるで修学旅行のように研修員は大はしゃぎしていましたが、原爆資料館では原爆を経験された方の講話を聴き、平和について真剣に考えていました。

研修員にとってどのような学びや気づきがあったのか、私達が一番楽しみにしているのが研修員のアクションプランの発表です。与えられた発表時間をフル活用できるように、聞き手の興味を引く工夫を取り入れ、自国でどのような活動をするのかを発表してくれました。**どのアクションプランもとても素晴らしい**もので、帰国後の報告が今から楽しみです。

今回の研修が遅刻者や体調不良者を出すことなく、無事修了することが出来たのは、**研修員の年長者たちが進んでリーダー**となり、お互いに朝の声掛け運動を実施するなどを行ってくれたおかげだと思います。研修員が国を超えて自発的に協力し合う姿を見て、「**大洋州の未来は明るい!**」と感じました。

この度の研修にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！！（米村 淳平）



(身近な素材を使って楽しい実験ができるようになりました)



(平和公園ではみんなで世界平和を祈願)

おかげさまで大好評開催中！「いっぽふみだす！異文化理解講座」

10月からスタートした全5回の「異文化理解講座」もすでに3歩目まで歩みを進めてきました。これまでに「異文化体験ゲーム」、「私が“外国人”だったら」、「異文化コミュニケーション」を終え、残すは1/14（日）の「“外国人”と街歩き」、そして2/18（日）の「最後の一步！」のみです。これまでにご参加頂いた方からは「本当に楽しい！“留学したい”とか言ってる友達に勧めたい！」「毎回楽しくて次回も期待してます！」などなど、



(グループを超えて交流！)

励ましのお言葉をたくさんいただいて
おります。毎回、コミュニケーション能力の
高い参加者の皆さんに助けられながら開催して
いる異文化理解講座ですが、当協会の会員の皆様の参加費はなんと無料です。これまでに日程の合わなかった方も、**4歩目からの参加も可能です。**
「どんな講座なんだろう？」と思った方、**コミュニケーションの取り方に悩んでいる方、異文化を感じたい方**、お気軽にお問い合わせください♪
(古泉 志保)



(席についてグループワーク)

いっぽふみだす

料金後納
郵便

特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館

3F C号室

TEL:092-415-6536

E-mail:ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆

当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより」と「クロスロード」誌をお送りさせていただいているほか、当協会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい！

※ご関心のある方は、当協会までお問い合わせ下さい。

Instagram

皆さん「博多にわか」をご存知ですか？博多の郷土芸能なのですが、こんなお面をかぶってやる掛け合い笑劇です。なぜか当事務所にそのお面が・・・



九州海外協力協会 ブログ

随時更新中！コメントお待ちしております☆



<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

九州海外協力協会 facebook

facebookをご利用の皆様、ぜひ、[いいね!](#) してくださいね♪
“facebook 九州海外協力協会”で検索くださると、登録がなくてもご覧になれます！

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会

〒812-0011福岡市博多区博多駅前

3-10-34 Mビル3号館 3F C号室

TEL:092-415-6536

FAX:092-415-6518

HP: <http://www.npo-kyushu.or.jp/>

E-mail: ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp

